

伊豆沼・内沼

サンクチュアリセンターニュース vol.29

第7回 伊豆沼・内沼自然体験講座

伊豆沼漁師体験



10月21日、伊豆沼・内沼自然体験講座を開催しました。仙台市や東松島市、地元栗原市・登米市から12家族31名の方々が参加しました。伊豆沼漁業協同組合の協力を頂き、船で網をかけた場所へ行き、獲れた魚を観察しました。

2012 クリーンプロジェクト in 伊豆沼

10月13日、「2012 クリーンプロジェクト in 伊豆沼」(主催：河北新報社)が開催されました。前回(5/26開催)に引き続き「AQUA SOCIAL FES!!2012」の一環で開催され、約60名の方々が内沼周辺で清掃活動や観察会を行いました。



アメリカザリガニはわるもの？

田んぼやため池、小川にすんでいる真っ赤で大きなハサミの生き物と言えよ？それは、**アメリカザリガニ**です。自然がたくさん残っている場所だけでなく都会の公園池などでも見ることができ、学校の教科書にもものるくらい身近な生き物です。

そんな、日本人にとってなじみの深い**アメリカザリガニ**ですが、実は世界中でいろいろな問題を起こしています。

アメリカザリガニはもともとアメリカ南部にすんでいましたが、人が食糧やペットにするために世界中に移動させました。日本には1930年頃に持ち込まれ、またたく間に全国にひろがりました。

アメリカザリガニは、水の中の生き物ならなんでも食べます。特に水草が大好きで、池や沼の水草を食べ尽くしてしまうことがあります。水草がなくなると、**トンボ**や**エビ**がすめなくなってしまう。また、**アメリカザリガニ**は岸辺に巣穴を掘る習性があります。そのため、水田やハス田ではせっき溜めた水が抜けてしまいます。ため池の堤が崩れてしまうこともあります。このように、みんなに人気の**アメリカザリガニ**ですが、日本にもともといた生き物や、私たちの暮らしにとって、いろいろな悪い影響を与えているのです。

そこで、財団では、伊豆沼や周りのため池で**アメリカザリガニ**の駆除を行なっています。駆除はまだまだ始めたばかりですが、**アメリカザリガニ**を減らした池では、**魚**や**エビ**がたくさん増えています。



アメリカザリガニ



アメリカザリガニの巣穴



アメリカザリガニの駆除

伊豆沼・内沼 渡り鳥 飛来数

ガン類	66,504 羽
ハクチョウ類	1,297 羽
カモ類	687 羽

2012年11月7日現在

(財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
Tel : 0228-33-2216 Fax : 0228-33-2217
ホームページ : <http://www7.ocn.ne.jp/~izunuma/>
e-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp
〒989-5504
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2